

野川台自治会

あいさつ運動の輪

発行：野川台自治会
 発行者：野川台自治会長
 川崎市宮前区
 TEL.
 協力：西野川小・野川中PTA、おやじの会
 一葉会、すずの会、青少年指導員
 地区社協ほか
 編集：福祉の風土づくりを進める会事務局



家庭・学校・地域のさらなる連携をめざして



あいさつ運動を始めてから10年目、子どもたちの思いに応じて「あいさつの輪」、
 さりげない「お節介の輪」の拡がりを通じて、信頼と支え合う“絆”づくりを皆さんの手で！

会話が消える！

野川中学校 校長 北谷 辰雄

最近、電車・バスの中で会話をしているひとが、本当に少なくなったことを感じます。

乗り物の中での大きな声は迷惑なものです。友達・同僚との会話より、電子機器を手にゲームやメールに夢中になっている状況は、異様な光景に見えて仕方ありません。さらにそれが、学生だけではなく大人の多くも同様で、家庭内でもおなじような光景になっていないか不安を感じています。

また、車内から会話が消えていくばかりでなく、危険な行為である歩行中・自転車乗車中にもゲーム・メールなど電子機器依存から逃げられなくなっています。街中から会話が消えていくのではないかと危険さを感じているのは、私だけでしょうか？

私は毎朝、犬と散歩している方、登校する生徒たちと言葉を交わしていますが、この野川地区からあいさつ・会話が消えていくことのないようにしていきたい！そんな思いでいます。

あいさつは心の扉を開く鍵

西野川小学校 児童指導担当 鍋田 徹

毎週火曜日の朝になると、正門から子ども達が元気にあいさつをする声が聞こえてきます。私が担任をしている3年生は、6月の担当でした。正門の両側に一列ずつで並んで立ち、登校してくる他の学年の子ども達一人一人をあいさつで迎えます。

あいさつをする3年生達を見ていると、初めは遠慮気味に控えめな声を出していました。しかし、次第に表情が緩み、生き生きとあいさつをする姿へと変わってきたことに気付きました。あいさつを交わすことが、心の扉を開く鏡のような役割を果たし



ているように感じたのです。人にはさまざまな感情があります。心の扉が開いている時があれば、閉じている時もあります。

あいさつは、相手の前に一歩出て、閉ざしている心の扉の前に立った時、その扉を開けるきっかけ（鍵）になるものだと思います。これからも心の扉を開けるあいさつを大切にしながら、あいさつ運動を続けていきたいです。



地域に定着した第15回西野川“どんど焼き”（おやじの会）

挨拶から始まる「心」と「心」のふれあい

宮前区役所こども支援室 室長 杉山 俊成

「挨拶」の「挨」の字は「心を開く」、「拶」は「近づく」という意味があり、心を開いて相手に近づくということが挨拶の本来の姿です。元プロ野球監督の野村克也氏は「挨拶は、人間らしく生きるための基本の心である。親に挨拶の心がないと、それは必ず子供にも表れる」と言っており、子どもたちに心を開いた挨拶や会話を大人が行わなければ、例えば子どもが発信しているSOSを迅速にキャッチすることも、何らかの支援や対策を的確に講じることでもできません。川崎市では、この4月から地域包括ケアシステムの体制作りに着手しますが、高齢者のみならず、そこに暮らしているすべての人を対象とするものです。そこで重要になるのが、いかに顔が見える関係を構築していき、自分の住む街に愛着を持っていただくかだと思っています。あいさつ運動の輪で、心の扉を開いた挨拶を行い、一層心と心がふれあい温かい人間関係が構築された街となるよう心より願っております。



支え合う地域コミュニティへの期待

—— あいさつは、気づき、見守りのはじめ ——



まさか！ オレオレ詐欺にあうとは！

テレビや新聞で、毎日のように振り込め詐欺の報道がされています。振り込め詐欺は、「オレオレ詐欺」、「架空請求詐欺」、「融資保証金詐欺」、「還付金詐欺」などの総称です。そのうち、息子や孫を装って、「カバンを忘れた」、「会社の金を使い込んだ」などの名目で現金をだまし取る手口が「オレオレ詐欺」で、一番多く占めています。私たちの住む宮前区では、H27年1月～12月までの間に被害件数24件（被害総額約1億2千万）のうち、19件が「オレオレ詐欺」です。

1. 巧妙になった手口！

「オレオレ詐欺」の被害者は、70～80歳代の方が多いですが、そのほとんどの方は、普段「自分は大丈夫、だまされない」と思っているものの、いざ「子や孫の身内のことになる」と冷静になれなかったこと等を挙げています。最近では、「預金口座への振り込み」から「現金手渡し」の形になり、さらには事前に犯行の準備のため前ぶれ電話を入れてくるケースも増えるなど手口が巧妙になってきています。これから要注意なのはマイナンバー制度に便乗した不審な電話等です。

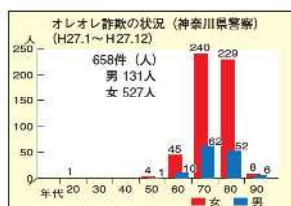
2. 被害にあわないためには！

昨年末から、野川地域にも不審な電話がかかってくるなどのことです。お互いに注意し合ひましょう。

- (1) 留守番電話を設定
- (2) 知らない番号に出ない
- (3) 家族に必ず確認し、警察に相談しましょう
- (4) 面識のない人にはお金を絶対渡さない
- (5) いつも身内や地域の人とコミュニケーションを
(宮前警察署 044-853-0110)



オレオレ詐欺見破りDNA作戦 (神奈川県警察)



オレオレ詐欺の年代別件数

10月15日合同防犯パトロール実施

野川台自治会は平成24年から、毎年「県安全・安心まちづくり旬間」に合同防犯パトロールを宮前警察署・区役所の指導のもとに実施。昨年は10月15に西野川小・野川中の先生と保護者等約30名の方の参加を得て行いました。



青色回転灯車とパトロール

社会を明るくする運動で表彰

西野川小学校・野川中学校

「社会を明るくする運動」宮前地区推進委員会は、毎年よい行いをした青少年を表彰しています。

今年度の受賞者のひとつに、西野川小学校の児童が自主的に取り組んでいます1年生から6年生までの「公園の落ち葉拾い等の美化清掃」。もうひとつは、野川中学校の女子ソフトボール部員が毎朝、地域の人とあいさつを交わしながら、校門の前の道路の清掃活動で2月10日表彰されました。おめでとうございます。これからもよろしくお願いします



第三公園の花だん



表彰式にて

ふるさと散歩 3

人生の節目に祈りと感謝を！

地元の氏神さま 野川神明社

野川神明社氏子総代長 宮台 泰洋

野川神明社の社は、野川交差点近くの第三京浜国道の側道を登ったところにあります。その地は縄文時代から弥生時代にかけての集落跡や土器・石器などが発掘されたことから、海に迫っていた台地と言われています。

参道を通り手水舎を左に折れ、石畳を進むと木々に囲まれた本殿の前に出ます。そこには高さ2.8mの韋駄天神石像があります。仏舎利を奪って逃げる鬼を捕まえたということから俊足の神様で「韋駄天走り」の語源となっております。足腰の疲労、病を癒す神、子どもの病魔を取り除く神、スポーツ全般の守護神として奉斎している神社です。このことから健脚、健康のパワースポットとして、県外からのマラソン選手等のスポーツ関係者の祈願参拝者が多いです。

主な祭事としての2月3日の子どもたちの楽しみでもある節分の豆まき、そして10月の威勢のいい掛け声で地域を練り歩く例大祭のお神輿は、地域の人のつながりや元気を育む行事にもなっています。



い だてん
韋駄天神石像



練り歩く“おみこし”



ひとことで みんなの顔に 花がさく

—— 人と人との心をつなぐ ——



自分の気持ちを伝えるきっかけ

野川中学校生徒会本部 1 年書記 木我 斗真

毎週月曜日の朝、野川中学校では明るく元気なあいさつが聞こえます。このあいさつは、なんのために行われているのでしょうか。あいさつをしている相手の事を知らなくても、会話する相手の印象に残ったりします。しかしただ元気良くあいさつをすれば良い印象になる訳ではありません。あいさつは心をこめなければ言う意味がありません。どんな人でも良いあいさつをすると、心地良くなりませんか？そこからその人と話すようになるかもしれません。相手の気持ちを考えて行動できると大人らしく、素晴らしいと思います。やはり自分の気持ちを伝えるのはあいさつが一番です。朝、気持ち良くなるのもあいさつが一番です。それで、とても元気に一日を過ごせるなら、あいさつは宝物だと思います。

災害！ その時 あなたはどうしますか？

昨年11月、「火災の煙が、1階から5階まで上昇するのにかかる時間は、およそどのくらいですか？①5秒、②5分のどちらでしょう」という問い掛けがマイクを通じて西野川小学校の張りつめた体育館内に響き渡りました。総勢130余名の子どもとお父さん、お母さん達が、①と②の答えの所定場所へ移動……。そんな防災クイズが10問を越えたにもかかわらず、みんな真剣に取り組み、満足気な様子が印象的でした。

おやじの会は、東日本大震災が発生してから毎年、「親子や地域の人と一緒に楽しみながら防災訓練の日常化、イメージ化をどうやったらよいのか」を模索している中で、「おやじの会流の防災クイズ」のやり方を編み出したのです。当日は、最初に制服姿の宮前消防署の方からの具体的で分かりやすい「火災の恐ろしさとお話」を伺い、その後AEDや本物の消火器の体験、野川分団の消防車試乗等中身の濃い楽しい防災訓練が行われました。(おやじの会、野川台自治会、西野川小学校、西野川小学校PTA共催)〈正解①5秒〉



消火訓練！



消防車の試乗！

ひろげよう あいさつのわ！

西野川小学校 1 年

あいさつをすると、ドキドキしたけど、いってみたいらきもちよかったです。ちいきの人やともだちにもあいさつをしたら、ともだちがどんどんふえてたのしくなりました。これからもあいさつをしていきたいです。

(たきぐち まいか)

ふだんほかの学ねんにあいさつができないから、あいさつうんどうで、いろいろな人たちとふれあいたいです。あいさつうんどうとみんなのおかげでともだちがふえます。だれかとともだちになるっていいんだとおもいました。

(ほそやま みおん)

ほくは、あいさつうんどうの目をきょうかなあとドキドキわくわくしてまっています。あいさつはやめられません。あいさつうんどうは、やるきまんまんで、またやりたいです。さいごまでがんばります。

(かねこ まさき)



ドキドキわくわく！ 朝のあいさつ運動

あいさつ運動の今までの経緯

- H19. 6 「西野川小学校教育推進会議」で児童から「地域のひととあいさつがしたい！」の声(提案)
- H19. 10 西野川小学校、野川中学校、各PTA及び野川台自治会・民生委員が一体となりあいさつ運動を開始
・「西野川小学校の校門での朝のあいさつ運動」
・「家の前や道でのあいさつ」(個人対応)
- H20. 4 二つのあいさつ運動をセットで実施
(1)「学校での朝のあいさつ運動」
(2)「パトロールによるあいさつ兼防犯活動」小中学校班
- H20. 9 「県安全・安心まちづくりパイロット補助対象」事業となる「パイロット事業推進委員会」開催(学校、警察、区、自治会等)、標語作成「あいさつは心と心のキャッチボール」、広報紙「あいさつ運動の輪」創刊号発行
- H20. 12 県防犯協会長から地域安全活動の感謝状受賞
- H21. 9 「昼・夜間パトロールによるあいさつ兼防犯活動」の拡充、毎月各1回実施、(小学校班、中学校班(給夜間班))
- H24. 7 川崎市制90周年記念奨励賞受賞(あいさつ運動等まちづくり)
- H26. 9 第三回西野川小学校児童標語作成「ひとことで、みんなの顔に花がさく」
- H28. 3 「あいさつ運動の輪」第16号発行

学校と自治会等地域の主な取り組み

- | | |
|---------------------|-------|
| 1 校門での朝のあいさつ運動 | 学校・地域 |
| 2 パトロールによるあいさつ兼防犯活動 | 地域 |
| 3 「あいさつ運動の輪」発行(年2回) | 学校・地域 |
| 4 運動の標語募集・シール化等広報 | 学校・地域 |

学校と地域のつながり



学校・地域のイベントや児童・生徒の活躍は地域の誇り

(文責は編集事務局)

“昔からのあそび”に参加して

昨年10月、西野川小学校の1年生の“昔からの遊び”に野川台自治会員のひとりとして参加。初めての私は、一体どうしたらいいのか困り果てた状態



カブト折り

で、学校に向かって歩いてたことを今でも覚えています。体育館でやる担当が「羽根つき」に決まった時、何年もやっていない遊びで、これまた、子どもたちに教えることができるのか心配ばかりが先行していましたが、いざ動きだしてみると以外に楽しく、何よりも子どもたちが真剣に取り組んでいる姿にびっくりしました。途中色々な質問を受けたりし、本当に夢中で過ごした2時間でした。最後に教室で子どもたちと一緒に給食を共にするなど貴重な体験を味わうことができました。とりわけ嬉しかったことは、後日、子どもたちからの心のこもったお礼のお手紙と写真を頂いたことです。我ながら胸に詰まるものがありました。また来年も参加できれば嬉しいですね！

(担任は、草開、矢作、佐久間各先生)

女子駅伝部 県大会10位入賞！

県中学校駅伝大会4年連続出場・4年連続入賞の女子駅伝部。10月に横浜八景島・海の公園回周12キロコースに臨んだ陸上部の精鋭5名が、一本



女子駅伝の精鋭！

のタスキをつなぎ熱走！56校中10位の入賞を果たすものの、宿願の関東大会出場にもう一步届かず悔しさ一杯の涙！。秋の強化練習期間中、12名の仲間が、気持ちをひとつにし、毎日、10キロ近く走りこむ「ペース走」と週1回の「タイムトライ」を苦しさにも耐えながら、いいタイムで仕上がってきたはずなのに！。やはり、大きい大会になればなるほど、選手一人ひとりの走りが、順位を左右するという責任感・重圧感に耐える精神力をもう一步を培うことの大切さを選手たちは痛感していました。顧問の平川先生は、そんな選手たちに折に触れ、「精神的にも肉体的にも“自分に負けるなよ”それは運動でも勉強でも同じこと」と話をされているとのこと。(顧問は、平川、大石の各先生)

わが町かわさき映像コンテスト優良賞！

放送芸術部のうち、放送班には、29名の班員がおり、主にアナウンス部門とビデオ作製部門に分かれています。アナウンス部門では、今年度中学生放送



“コブクロ”イメージビデオ作成コンテストに一年生が応募し、自作の原稿「選挙年齢の引き下げ！大人の仲間入り・・・」を朗読し、そのアナウンス力が高く評価され、優良賞をいただきました。またビデオ部門では、今までトンネルアート等を題材に編集してきましたが、昨年は「わが町かわさき映像コンクール」に参加。フォーク歌手「コブクロ」作詞・作曲の「蕾(つぼみ)」をバックミュージックにイメージビデオを編集作成し、多くの人に感動を与え優良賞に輝きました。「みんなでひとつのものを創り上げ、できた作品を多くの人に見てもらえることが放送班の醍醐味です」と顧問の先生は温かく見守っていらっしゃいました。(顧問は、村上、伊藤の各先生)

バスケット部、後半17点差を大逆転！

市大会で富士見中と対戦、前半17点差をつけられていたものの、後半、チームワークを取り戻し、残り2秒で、今までチームを引っ



全員集合！

張ってきたキャプテンが、絵に描いたような華麗なシュートを最後に決め、77:75のスコアで大逆転、それがベスト8の決まった瞬間！。その感動が今もみんなの脳裏に焼き付いています。この勝利は、日頃の走力・持久力の猛練習のもとでの、ディフェンスからオフェンスへの早い切り替えの成果と言えましょう。顧問の先生は、練習中の生徒のキラキラとした目を見ると、「本当にバスケット好きなんだな」という気持ちが伝わってくるとし、今まで自分たちを支えてくれた周りの人たちへの感謝の気持ちをもってバスケットを楽しむようエールを送っておられました。

(顧問は、津田、寺田の各先生)

編集後記

昨今、地域包括ケアシステムの構築の必要性が叫ばれていますが、お互いさまであった支え合う風土が無ければ絵に描いた餅とも言われています。そうした中で紙面を、地域の動きに目配りをしたらと野川中学校の北谷校長先生からアドバイスをいただきました。これからも地域のボランティア活動やふるさと散歩等の紙面づくりに心がけていきたいと思っています。(日高、原、山本、後藤、辻本、岩本、前之園)